レストランが抱えるトラブル

ベルギーの自営業組合(SNI)の調査によると、会食後客が食事代を支払わずに帰っていったということが年間に最低一回起きたレストランは、2014年の調査時から33%も増加したという。えっ、勘定をし忘れた?わざと逃げた?と常識では考えられない行動で、われわれの頭の中は、???がいっぱいになります。しかし、これは事実で、筆者の知り合いのシェフも、「4名のいちげんさんの客が、それぞれア・ラ・カルトから料理を注文し、高級ワインを飲んで、気がついたら誰もいなくなっていたために、700ユーロ近くを踏み倒された」と話してくれました。

この自営業組合の調査と警察への被害届出件数を比べると、届けられた被害はわずか16%のみです。つまり、届けても損した飲食代は戻らないだろうと、警察への届け出という努力を諦めています。



警察の調査では、2014年に471件あった被害が、2017年には567件とトラブル件数が増えています。届け出たレストランの1/4は、この事件が毎月起こっており、さらに2%のレストランでは、毎日起こっているということです。

被害にあったレストランの1/3は犯人を捕まえることができ



ず、38%はたまに、25%はときどき、毎回犯人を捕まえているのはたった5%だそうです。

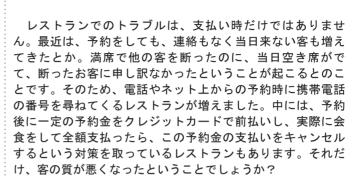
レストランにとって、テラス席 での客を管理するのは難しく、ま た、レストランの前でタバコを吸 い始め、そのままいなくなってし まうパターンもあるそうです。

2/3のレストランは、このトラブルの対策としてデリカシーに欠け、あまり商業的とはいえない方

法を考案しました。特に テラス席での客に対し て、注文と同時に、また は料理をサーブしたらす ぐに支払いを済ませても らうそうです。

防犯カメラも、警察 が捜査の際に資料とし

て提供できるので、犯人の特定に一役買っています。





ンに滞在します。つまり、日本のように回転率が高くないから客単価を高くしておかないと、人件費が高いベルギーでは 経営が成り立たないのです。

というわけで、ベルギーで美味しいものを食べる時には、時間 のある時に、会話を楽しみながらお出かけください。全く知らな い隣の席の方と会話が弾むかもしれません。それがきっかけで、 友だちになることもできます。いろいろなチャンスを利用して、 ベルギー文化を吸収しましょう。最後にお勘定を忘れずに!



